

相模原市（所在地：神奈川県相模原市）

事業名

インクルーシブ・プログラム開発事業

事業の趣旨・目的

- ・大学の場を活用した、障害の特性に配慮した若者世代の学びや交流、仲間づくりを促進するための開発と実践
- ・教育や福祉等の連携による、学びや交流のための推進体制の検討
- ・共生社会の実現に向け、理解促進のための情報発信や啓発活動

事業実施体制・連携先

再委託先：相模女子大学

連携協議会の構成員：コーディネーター、プログラム開発参加協力者代表（勤労青年・学生）、相模女子大学、信州大学、東京学芸大学、支援学校、インクルーシブ教育実践推進校、相模原市社会福祉事業団、民間福祉事業所、相模原市教育委員会（教育センター、青少年相談センター、生涯学習課）、相模原市（スポーツ推進課、高齢・障害者福祉課）

事業内容

発達障害や知的障害の若者に対するインクルーシブな学びや交流のためのプログラム開発に取り組む。
なお、プログラム開発の部分は相模女子大学に再委託し、相模原市は啓発講座や連携協議会の開催を担う。

○インクルーシブ生涯学習プログラム

若者なら誰でも参加できる「オープン・セミナー（大学で学ぶ楽しみ発見セミナー）」（全4回）と、就労している発達・知的障害者と相模女子大学学生の固定メンバーによるクローズドな「ゼミ活動」（全8回）で構成する。

○エンパワメント・プログラム

当事者が主体となり、セミナー運営、リサーチ活動、メディア活動の3本柱で構成する。メディア活動（全7回）は「みんなが楽しめるセミナーとは」をテーマに開催するリサーチ活動（全10回）取材し、制作した動画を通して生涯学習プログラムの魅力を社会に向け発信する。

○啓発講座

就労だけでなく余暇や生涯学習の機会が重要であるという考えを広く周知し、「生涯学習（学び）」の必要性を伝えることを目的に、中高生や若者、保護者、教員等に向けた講座を開催する（全2回）。

○連携協議会

発達障害や知的障害の若者にとっての生涯学習の意義について、当事者（勤労青年と学生）を交えて意見交換を行う（全3回）。

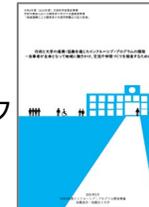
事業終了後の目指す方向性

- 1) 当事者の主体性を尊重する活動モデル
- 2) 発達障害や知的障害の子どもを育てる家族、教育・福祉関係者への啓発
- 3) 大学の場を活用した生涯学習モデルの普及

その他

【R5成果報告書】

行政と大学の連携・協働を通じたインクルーシブ生涯学習プログラムの開発



【動画（2023年度）】【相模女子大学HP】

